## ソロ情シスに負荷をかけることなくサイバー攻撃の脅威に対応可能!

# ESET PROTECT Advanced クラウドに注目

現代のビジネスで競争力を維持するためには、ITの活用がもはや不可欠。企業の情報システム部門が担当する業務は増加の一途を辿っている。特に昨今は、1人ないしは数人で複数の業務を担う「ソロ情シス」状態でIT全般を管理するケースも増えてきている状況だ。その一方で、企業を狙ったサイバー攻撃も高度化・多様化を続けており、セキュリティ対策も大きな課題となっている。企業は奮闘を続けるソロ情シスの負荷を軽減しながら、高度化するサイバー攻撃へのセキュリティ対策の強化を図るという困難なミッションを課せられているのだ。

#### 多様な業務に忙殺される「ソロ情シス」にのし掛かる、 セキュリティ強化という難解なタスク

テクノロジーの進化によって企業は多くのメリットを得ているが、その反面、サイバー攻撃の脅威に直面するといったリスクの増加も招いている。近年では、働き方改革や新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もあり、テレワークをはじめとした柔軟な働き方がビジネスの世界に浸透。社内ネットワークの内部を守ることを前提とした従来型の境界型防御では、安全性を担保することが難しくなってきている。サイバー攻撃の内容も、以前の愉快犯的なものから、金銭目的の組織的な犯行へと変化を遂げており、対策を怠れば金銭的な損失はもちろん、信用度・ブランドイメージの低下など、企業の存続に関わる事態を引き起こすことになる。

こうした状況のなか、高度化・巧妙化するサイバー攻撃に対処し、 業務PCへの攻撃を防ぐため、多様なセキュリティ対策製品が市場に 投入されているが、複数のセキュリティソリューションを導入・運用する ことはIT管理者/セキュリティ担当者の負荷増大に直結する。管理者 がITインフラの運用・管理から業務のデジタル化までを少人数で 担い、多様なタスクに追われている「ソロ情シス」状態では、新たな セキュリティ対策の検討に時間をかけることができないケースも少なく ない。さまざまな業務を行っているがゆえにセキュリティに特化した 経験値が足りず、マルウェア感染などの重大インシデントが発生した 際にも、迅速かつ適切な対応ができないまま、被害を拡大させてしまう 可能性もあるのが現状だ。

とはいえ、ソロ情シス状態でリソースや経験が足りないという理由でセキュリティ対策をないがしろにするのは現実的な対応とはいえない。そこで注目したいのが、新種や未知のマルウェアをはじめ、多様なサイバー攻撃に対応するためのツール・サービスを網羅した、クラウドベース

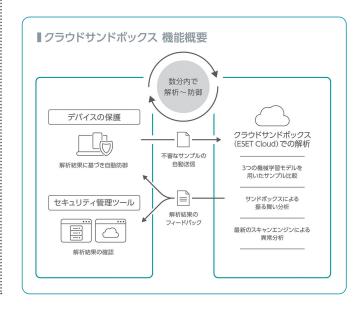


のオールインワン型セキュリティ対策ソリューション「ESET PROTECT Advanced クラウド」となる。

#### 実績の高いアンチウイルス製品とクラウドサンドボックス 機能で、運用負荷をかけずに安全性を担保

セキュリティ対策製品「ESET」の国内総販売代理店としてキヤノンマーケティングジャパンが提供している「ESET PROTECT Advanced クラウド」は、「未知の脅威にも対応できる高度なセキュリティ」と「導入・運用が容易で管理者の業務負荷を増やさない」というソロ情シスの求める要素を兼ね備えた統合型のセキュリティ対策ソリューションだ。ヒューリスティックエンジンという振る舞い検知機能を搭載し、多くの個人/法人ユーザーが活用するアンチウイルスプログラムをベースに、クラウドサンドボックス機能やフルディスク暗号化機能などを組み合わせてパッケージ化した製品で、テレワーク時も含め、業務で利用するデバイスを包括的に保護することができる。

ESET 社が20年以上に渡りノウハウを蓄積してきた機械学習やヒューリスティック(振る舞い検知)の技術で多角的な防御を実現するアンチウイルスプログラムは単体でも高く評価されているが、そこにクラウドベースのサンドボックス機能が追加されたことで、脅威の検出率と検出スピードが飛躍的に向上。アンチウイルスプログラム側のみでは悪質かどうかを判断できない"グレー"な実行ファイルは、クラウド上に用意された解析環境(サンドボックス)に送られ、解析された結果がすべてのデバイスに適用される。この解析環境は高いパフォーマンス



を有しており、"グレー"なファイルの約95%を5分以内に解析することが可能で誤検出も極めて少ない。アンチウイルスプログラムに比べて、平均で135分も早く検出できるという調査結果も出ており、昨今、被害が再拡大している「Emotet」をはじめ、最新の脅威に対しても迅速に検知・対応でき、リソースをかけることなく被害の最小化が図れる。アンチウイルスとクラウドサンドボックスを併用することで"多層防御"を実現している。

ESET PROTECT Advanced クラウドのクラウドサンドボックス 機能は自動化機能が充実しており、未知の脅威も自動解析、自動防御できることで情シス担当者の手を煩わせることなく安全性を担保。チューニングなどの作業も基本的に不要で、常にさまざまな業務に追われているソロ情シスでも問題なく運用できる。もちろん、重み付けによるルール化などそれぞれの企業の要件に合わせたチューニングを施すことも可能だ。負荷の高い解析処理はクラウド上で行われるため、デバイスへの影響もほとんどなく、動作が重くなるといった問題も発生しないのも見逃せないポイントといえる。

さらにクラウド型のセキュリティ管理ツールも用意されており、ブラウザーから管理コンソールにアクセスすることで、社内・社外にあるすべてのデバイスの状況を確認可能。テレワーク環境も含めたデバイスの一元管理が実現するだけでなく、情シス担当者自身のテレワーク推進にも大きな効果を発揮してくれる。

自動化やクラウド型の管理といった高度な機能を備え、 ソロ情シスでも導入・運用が容易に

このように、「自動化」と「クラウド型の管理」でソロ情シスをサポートす

るESET PROTECT Advanced クラウドは、個別にセキュリティ製品を導入する必要のないオールインワン構成で導入も容易。クラウド型のソリューションでサーバーの構築も不要なためスピーディに運用を開始することができるほか、自動バージョンアップなどクラウドのメリットを活かした機能を実装し、運用負荷とコストの低減を実現している。

目の前の仕事に追われてなかなか新しい業務に手をつけられない傾向があるソロ情シスだが、拡大を続けるサイバー攻撃から逃れることはできないはずだ。その意味でも、未知の脅威にも対応できるセキュリティ機能と高度な運用・管理機能を兼ね備えたエンドポイントセキュリティソリューションを選択することは有効な一手といえる。重大インシデントが発生して取り返しの付かない被害が起きてしまう前に、ESET PROTECT Advanced クラウドの導入を検討してみてはいかがだろうか。



### ニューノーマル時代の新しいセキュリティスタンダード



#### ESET PROTECT Advanced クラウド

ESET PROTECT Advanced クラウド は、アンチマルウェアやネットワーク保護、セキュアーブラウザーなどが備わった総合的なエンドポイント保護機能に加え、クラウドサンドボックスやフルディスク暗号化機能、クラウド型セキュリティ管理ツールによる包括的なセキュリティ対策を実現するソリューションです。社内勤務はもちろん、リモートワーク時のデバイス管理も、セキュリティ管理者の場所によらず実施可能です。



https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-advanced-c/



ESET、ESET PROTECT、ESET PROTECT Advanced クラウドは、ESET, spol. s r.o.の商標です。仕様は予告なく変更する場合があります。

製品に関する情報はこちらでご確認いただけます。



セキュリティソリューション ホームページ

canon.jp/it-sec

**CallOll** キヤノンマーケティングジャパン株式会社

●お求めは信用のある当社で

2022年8月現在